

県大会までに残された課題、 憲法フェスティバルと 仲間づくり、そして沖縄問題に全力をつくそう！

「みんなで話し合い、みんなで決め、みんなで実行」は私たちの組織運営の基本です。09年度の運動方針に盛り込まれた課題も各平和委員会の奮闘で大きな成果を納め、6月19日の10年度の県大会に引き継がれます。残された課題を総力を挙げてやり遂げましょう。

1. 10年憲法フェスティバルを成功させよう。

「実行委員会」では企画・宣伝・賛同の取り組みが進んでいます。平和委員会の役割分担は参加者と個人・団体の賛同の取り組みです。3月の常任理事会で検討された目標を下記に掲げました。参加者は各平和委員会精一杯の奮闘をお願いします。団体賛同・1口3000円と個人賛同・1口1000円のご協力をお願いします。

2. 仲間づくりについては、毎月5名の仲間づくりを実施してから連続15ヶ月続いています。この成果を土台に各平和委員会

が2名以上の仲間を県大会までにやり遂げようと常任理事会で決めましたが具体化はさらに17日の理事会で検討します。

3. 安保・沖縄基地問題は平和委員会が取り組まなければならない最大の運動課題です。まず運動の手はじめに沖縄問題の核心は何なのかを各平和委員会で学習しよう。

① 平和憲法を持つ法治国家の独立国・日本はアメリカ軍に頼らなければ本当に平和と安全が確保できないのか。マスコミの宣伝に負けてはいないのか。

② 何故、アメリカに正々堂々とものが言える外交ができないのか。その最大の理由はどこにあるのだろうか。

③ そして沖縄から基地撤去を実現させる運動をどうつくりあげていくのか、私たちの果たせる役割りは何なのかなどを話し合い、運動の前進を勝ち取っていこう。長期的な取り組みとなるので着実に進みましょう。

「核兵器のない世界を」 2010年NPTへ 国際署名へ賛同あいつぐ

県内の市町村長21氏に加え、市町村議会議長21氏が署名

- 1 水戸市議会議長 袴塚 孝雄
- 2 石岡市議会議長 前島 守雅
- 3 潮来市議会議長 栗飯原 治雄
- 4 茨城町議会議長 小貫 昭夫
- 5 古河市議会議長 小林 正夫
- 6 境町議会議長 木村 信一
- 7 桜川市議会議長 増田 昇
- 8 下妻市議会議長 谷田部 久男
- 9 常総市議会議長 中島 享一
- 10 高萩市議会議長 篠原 新一郎
- 11 筑西市議会議長 榎戸 甲子夫
- 12 つくばみらい市議会議長 今川 英明
- 13 土浦市議会議長 折本 明
- 14 東海村議会議長 鈴木 昇
- 15 取手市議会議長 赤羽 直一
- 16 坂東市議会議長 渡辺 昇
- 17 日立市議会議長 茅根 茂彦
- 18 ひたちなか市議会議長 後藤 正美
- 19 美浦村議会議長 沼崎 光芳
- 20 結城市議会議長 孝井 恒一
- 21 守谷市議会議長 伯耆田 富夫

前号の首長21氏および今号の議長21氏の国際署名の賛同は『県原水協ニュース』に掲載されたものです。

5・3憲法フェスティバル 参加要請

4/28までに集約して
事務局にご連絡下さい。

	参加者数	個人賛同		参加者数	個人賛同		参加者数	個人賛同
1 北茨城	5	5	13 内原・友部	15	20	25 つくばみらい	5	5
2 美和・緒川	15	10	14 笠 西	10	10	26 茎 崎	5	5
3 日 立	10	5	15 鹿 行	20	15	27 竜ヶ崎	・	・
4 太 田	15	10	16 潮来役場	10	10	28 美 浦	・	・
5 大 宮	10	10	17 池 貝	3	3	29 藤 代	5	10
6 東 海	15	10	18 石 岡	15	10	30 取 手	5	10
7 ひたちなか	10	5	19 八 郷	5	5	31 下 館	10	10
8 那 珂	15	10	20 百 里	5	5	32 結 城	10	10
9 水 戸 西	20	10	21 土 浦	10	10	33 さ か い		5
10 水 戸 南	10	10	22 阿 見	10	10	34 古河・総和	5	5
11 花だいこん	5	10	23 つ く ば	5	5	35 五 霞	5	5
12 はばたき	5	10	24 守 谷	5	5	合 計	298	278

平和新聞

2010年4月15日 (木曜日)

1923号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**

1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 561

2010.4/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

<09年度の活動のまとめ骨子案>

ここの取り組みについての内容などはその都度「かわら版」や理事会報告にされていますので、県大会には整理した議案で提案しますが、ここでは全体のかかわることについて記します。

1. ここ数年、平和委員会の存在と運動の理解が地域に人々や県民のなかに広がっているように思います。多くのマスコミからの問い合わせや取材がきています。「市民的」な運動として発展していることに自信を深めましょう。

2. 今年の茨城の大きな成果は核廃絶署名で多くの首長・議長に署名をいただいたことにあります。首長や議長はその自治体を代表する人です。それはその自治体全体を代表する意味をもつということで地域の方々に知らせる必要があります。教育長や学校長も同じです。

3. 夏の戦争と平和を考える特別旬間の取り組みなども首長や自治体の協力を得て、平和行政を幅広く進める状況が作り出されてきています。そのためにも日頃から、市町村の方々との気楽な話し合いを持つ努力が大切です。

4. 地域に根ざす私たちの運動も、いま大きな発展の曲がり角にきています。追い風に立っている、「打てば響く」状況を活かす創意工夫ある運動を創りあげていきましょう。そして、何よりも仲間を増やすことが運動の保障であることを話し合い進めていきましょう。

聖路加国際病院理事長・名誉院長 99歳で現役

日野原重明先生が語る

～健康づくりは平和憲法とともに～

とき：5月1日(土) 午後1時～

ところ：坂東市ベルフォーレ (市民音楽ホール)
全席自由 500円 (高校生以上)

日野原重明先生のお話

「私は命を守る医者です。命をおびやかす最大のものが戦争です。だから私は日本が軍隊をもつことに同意できないし、平和運動に徹するのは医者の務めです」

思い出される反核署名

内原・友部平和の会 伊達 郷右衛門
個人や団体にはそれぞれ、得意と苦手の分野があるようだ。わが内原・友部平和の会は署名活動がどうやら苦手である。奮発一番、友部松山団地(約400戸弱)に入ることを決めました。

時は3月14日の日曜日の午前10時から12時まで。川井・稲田・飯村・小林・谷津・伊達で2人一組の3組で行動開始。成果はそれぞれ、28筆・23筆・21筆の計72筆。5軒で1筆の割合だが留守の家があった事を考慮すると約3～4割の確率で署名していただいたことになると考えていいのではないだろうか。オバマのプラハ声明や鳩山の国連での演説が追い風になっていることが感じられた。

<思い出話>

もう50年も前の1960年安保闘争の前後、小生も20歳前後。東京品川の地域で活動していた。

そのころ先輩に聞いた話を思い出す。それはこんな話である。
*第2次世界大戦の復興もままならぬ状況で第3次大戦の危機がヨーロッパに起こった、1949年ジョリオ・キュリー博士たちによってパリとプラハで平和擁護世界大会が開かれた。この世界大会には日本代表にも参加要請があったが、アメリカ占領軍は許可しなかった。そこで世界大会に呼応して平和擁護日本大会が開かれた。そして、この大会を契機に日本平和委員会が作られていった。

*1950年6月勃発した朝鮮戦争はアメリカによる原爆が使用される危険性が高まっていた。平和擁護世界大会委員会は1950年に原爆の使用を許すな「ストックホルムアピール」を出し、世界の平和勢力の人々に反対のたたかいに立ちがることをよびかけた。現在広まっている「核兵器廃絶」署名運動の創始であった。

*当時の日本はアメリカ占領下で、レッドパージ旋風の真っ只中であつた。ストックホルムアピールの署名用紙を持っていること自体「危険」であつた。そんな中、645万5009筆が集まった(世界では約5億筆)。戦前から、警察官が戸籍台帳を持って「治安維持法」関係者などが居ないかどうか、1軒1軒回っていた。当時もまだ実施していた。そんな中に、台帳と一緒に「ストックホルム」アピールの署名用紙を持って集めていた警察官がいた。職業柄かなり署名数は集まったはずである。

しかし、この事が警察にわかってしまった。荏原警察署の最

上階は(どこの警察も同じだが)柔剣道の道場になっている。そこで7～8人の猛者の囲まれて半殺しに痛めつけられてしまった。

*あの警察官の方は今まだ存命だろうか。どんな気持ちで署名活動に立ち上がったのだろうか。身の危険をおかしてまでの行動の勇氣はどこから湧いてきたのだろうか。あの645万5009筆の中に何筆含まれているだろうか。何十年かぶりで地域署名に入ってむかしの事が思い出された一日であつた。

(内原・友部平和の会機関紙「里山のたより」より)

食と農・くらしと健康・平和を守る共同を!

第12回 菜の花まつり

出店：天ぷら、焼きそば、フリーマーケット、農産加工品 etc
ステージ：ヒューマン・ファーマーズ etc

とき：4月29日(祝日) 午前10時～午後2時30分

ところ：茨城県結城市江川大町北嶋さんちの菜の花畑と雑木林
(雨天：江川多目的集会施設)

連絡先：菜の花まつり実行委員会

TEL 0296-20-9037 E-mail nanohana@center.email.ne.jp

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/nanohana/center/>

好評! 里山春のつどい

ご家族・友達を誘い合ってご参加ください

とき：4月25日(日) 午前9時半

ところ：旧友部町、北山公園キャンプ・バーベキュー場
友部・内原のグループごとに現地に車で集合。

つどい：準備は川井・谷津・伊達がします。午前中は新緑の里山を小鳥のさえずりを聞きながら散策する人。山菜のてんぷらやご馳走づくりをする人。それぞれ自由行動。

12時から山菜のてんぷらで舌鼓しながら昼食。その後は、歓談・かくし芸・なんでも有りのおたのしみ会。3時お開きです。

参加費：すべて込みでお一人1000円。会員外の方大歓迎。

担当：川井 光 (0296-78-3365)

谷津 進 (029-259-3810)

主催：内原・友部平和の会